

No.12 株式会社まちから

インパクトレポート（1枚目）

わたしたちの目指す地域の姿

100年後もあったらいいな。を海辺で生み続ける

まちから Impact Report

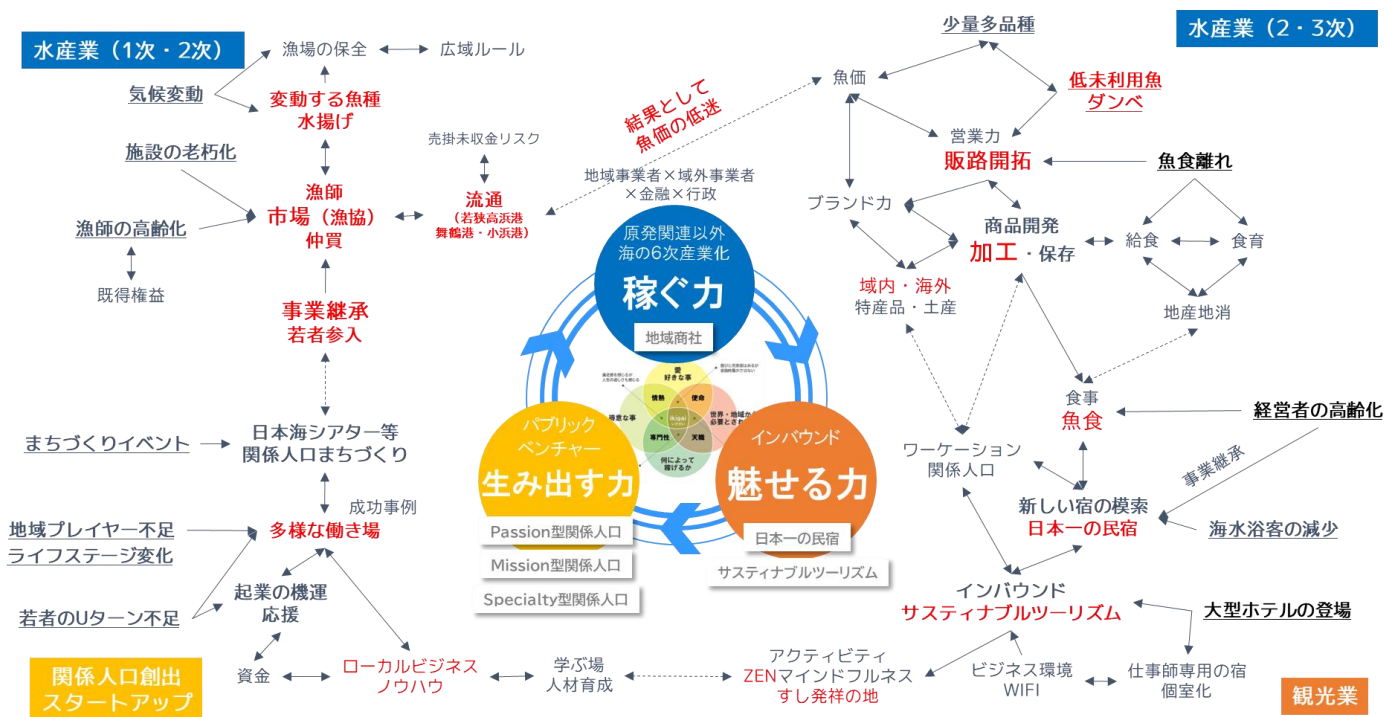
2019-24インパクトレポート



インパクトレポート（2枚目）

エコシステムが注力する地域課題

- ・ 水産業の衰退と海の6次産業化
『食卓から魚が消える』まったなしの現状を変える
- ・ 水産業を基盤とした関係人口の増殖とローカルビジネスの育成
人が魅力を感じ集まりだす。
ローカルビジネスを生み続ける仕組みが必要



＜地域課題の構造分析の概要＞

水産業の1次（獲る）と2次（流通）は両方がWINWINな関係でないと市場機能が低下する。2次（加工）と3次（販売）も密接な関係である方が、魚を無駄なく使うことにつながり、結果として経営が安定していく。

1次（獲る）～3次（販売）が、組織は違えど、同じ方向を向くことが重要。

高浜町の産業構造として水産業だけでは成立しにくく、もう一つの強みである民宿（観光）と、いかに多く接点を持てるかが重要なポイント。

人材の獲得という視点からも、関係人口を巻き込んだプロジェクトを生み続けることで、高浜に魅力を感じ、関係性を深めるケースがある。

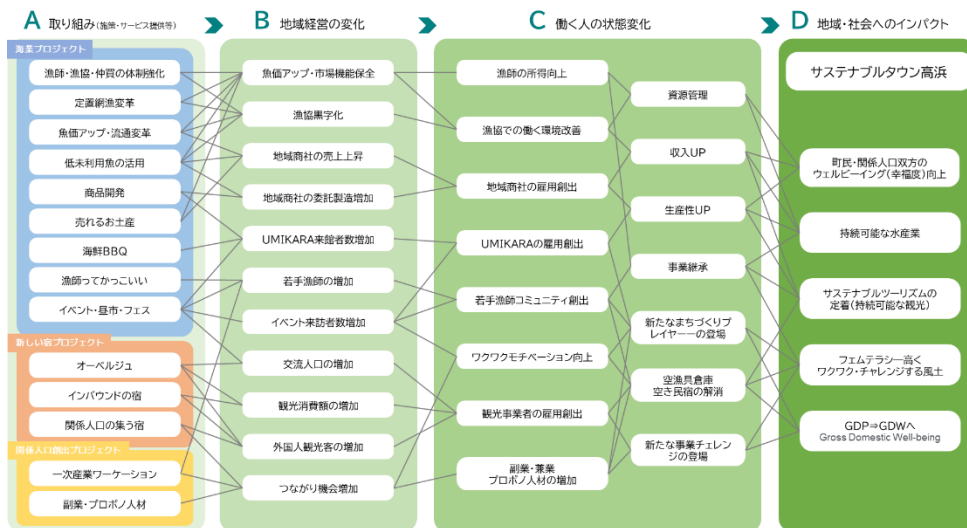
＜ヒアリングでの声＞

仲買）漁師さんに鮮度良く持ってきてもらい、一匹の魚の命に対して付加価値を付け流通させる。そして、いい手間をかけて加工し売る。高浜をもっともっと、鮮魚から加工品までバラエティーに富んだ元気な浜にしていける必要がある。

加工業者）獲る人、市場機能、販売機能の3つは、必須で、三方良しのビジネスを心掛けないといけない。その出発点は、いい魚を漁師さんに持ってきてもらうことから始まる。

インパクトレポート（3枚目）

海業から生業へ ～サステナブルタウン高浜の実現～



地魚全量活用・海外販路を見据えた加工場のリニューアル エリア企画創造事業部の新設

【域外循環】 御食国3.0

(水産加工、
6次化、
地域商社)

- ・ 若狭高浜エリアにおける食文化、資源管理、まちづくりを融合させ、持続可能なエリア形成を図る。
- ・ 海業としての6次産業化と、地域商社を中心とした販売展開の成長と新たな事業モデルを推進する。
- ・ 海外販路を見据えたHACCP認証取得
- ・ 若狭高浜港ブランドの継続

【域内循環】 漁具倉庫五十貨店構想

(地域商社)

- ・ 塩土エリアにある漁具倉庫を活用した商業、ビジネスが集積したビレッジ構想を立ち上げる。
- ・ 域内の賑わいとチャレンジできる場として「コト・モノ・ヒト」が交わる漁村エリアを再興する。
- ・ 新たな交流拠点を軸に海業振興モデル地区として「海業」の研究・学びを推進できる場を設置する。
- ・ 観光×水産のミックス。日本一の民宿を創出

高浜漁協からのまちから仕入れ額

1.66倍

(対2023年)

新たな宿の誕生数(事業継承含む)

6軒

(2019年6月～2025年2月末時点)

サステナブル商品(低未利用魚商品など) ローカルビジネスをはじめた人の数

0 ⇒ 28商品

(2019年10月) (2024年5月末)

2人

(2025年2月末時点)

<インパクトストーリー>

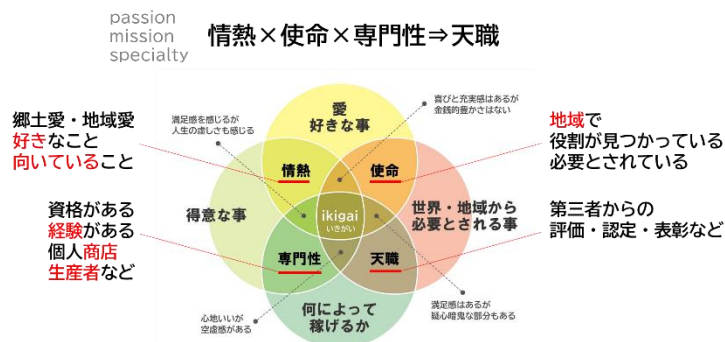
株式会社まちからとしては、高浜らしい地域商社のあり方として、こうした地域内外の人たちのヒト・モノ・コト、つまり『関わりしろ』を増やし、つなぎ、「ありがとう」と「笑顔」があふれる『感謝の循環』を高浜町から発信できればと考えています。そして、商品を通じて、感謝の気持ちのこもったサステナブルな地域ブランドを創っていきたいと思います。

「100年後もあったらいいな」を感謝と共にお届けする。
そんな持続的なアクションを続けていきます。

インパクトレポート（4枚目）

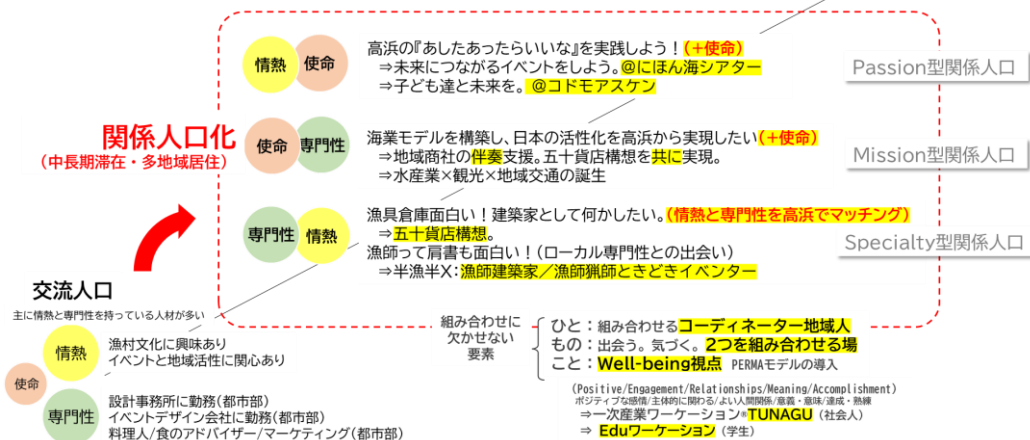
私たちのビジョン ikigaiモデルを生み続ける

関係人口を創るikigaiモデル
関係人口を海辺の町で生み続ける



まず、**情熱・使命・専門性の3つを育てていく**ことが大切
ローカル・セブラ企業の3つの素養でもある

情熱・使命・専門性のうち
2つを組み合わせると、関係人口化する



ライフスタイルデザイン会議・観光会議・勉強会→コ
ンソーシアムで再検討→インパクト戦略を策定



地域課題・方向性を共有
ライフスタイルデザイン会議

- ・サステナブルツーリズム
の必要性
- ・Well-being って何
- ・民宿、漁師の悩み

- ・水産と観光の融合って
- ・朝、魚を見て、その日の
民宿のメニューにお客さんが
選んだ魚が出るとか
- ・漁具倉庫の活用
- ・日本一の民宿って



地域ビジョンの
再検討勉強会

事業成果と今後の展望

- ①関係人口（Passion型関係人口、Mission型関係人口、Specialty型関係人口）を生み続ける。そして、事業化していく。
- ②若狭高浜港の市場機能を活性化。そのための加工機能の強化。
- ③100年後もあったらいいな。海辺の暮らしからはじまる物語をみんなで
続けること

インパクトレポート（5枚目）

地域課題を解決する
連携体制（エコシステム）

